

## 提案書評価基準

### 【評価方法】

- (1) 出席委員の評価点数の合計が最も高い提案を第一順位とする。
- (2) 出席委員の評価点数の合計が最も高い提案が複数あるときは、「提案書評価基準」の評価項目「4 横浜版学習プラットフォームの開発」、に係る提案の合計得点が最も高い提案者を第一順位とする。
- (3) (1) 及び (2) の方法によりなお、第一順位が決定しない場合は出席委員の多数決により第一順位を決定する。それでもなお決定しない場合は委員長が第一順位を決定する。
- (4) 各評価委員評価の合計点の平均が 264 点 (60%) に満たない場合は受託候補者として特定しない。

評価事項	評価	ポイント数					重要度	配点
<b>1 全体を通した評価事項</b>								
(1)業務目的、業務内容を理解しているか。	5:特に優れている 4:優れている 3:普通 2:劣っている 1:特に劣っている	5	4	3	2	1	×8	40
(2)実施方針及び実施手法に妥当性・実現性があるか。	5:特に優れている 4:優れている 3:普通 2:劣っている 1:特に劣っている	5	4	3	2	1	×6	30
<b>2 提案者について ※特定共同企業体の場合は、構成員全体で満たしているかを判断する。</b>								
<b>(1)ワークライフバランスに関する取組</b>								
以下に示す認定等の取得状況に応じて評価。 ①次世代育成支援対策推進法に基づく認定（くるみんマーク、プラチナくるみんマーク）の取得 ②女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく認定（えるぼし）の取得 ③若者雇用促進法に基づく認定（ユースエール）の取得 ④よこはまグッドバランス賞	5:2つ以上有 3:1つ有 1:無	5	-	3	-	1	×1	5
<b>(2)障害者雇用に関する取組</b>								
障害者雇用促進法に基づく法定雇用率 2.5%の達成状況に応じて評価 ・達成している（従業員 45.5 人以上）、又は障害者を 1 人以上雇用している（従業員 45.5 人未満）	5:有 1:無	5	-	-	-	1	×1	5

(3)健康経営に関する取組									
以下に示す認定等の取得状況に応じて評価。 ①健康経営銘柄、健康経営優良法人(大規模法人・中小規模法人)の取得 ②横浜健康経営認証の AAA クラス若しくは AA クラスの認証	5:2つ有 3:1つ有 1:無	5	-	3	-	1	×1	5	
3 体制、実績、事業管理									
(1)業務実施体制									
業務の遂行に有益な従事者が割り当てられているか。	5:優れている 3:普通 1:劣っている	5	-	3	-	1	×3	15	
(2)業務実績、経験									
過去、公立学校において自社 AI ドリルを提供した実績が1校以上あるか。ある場合、本業務に有益な成果を得ているか。	5:優れている 3:普通 1:劣っている (又は実績無し)	5	-	3	-	1	×3	15	
(3)事業管理									
進捗管理、リスク管理(個人情報漏えい等の対策やコンプライアンス対策)の計画・体制について、妥当性があるか。	5:優れている 3:普通 1:劣っている	5	-	3	-	1	×4	20	
4 横浜版学習プラットフォームの開発									
(1)活用される主な AI 機能は、児童生徒の「基礎学力向上」(特に英語及び算数・数学)に効果的に寄与するものか。	5:特に優れている 4:優れている 3:普通 2:劣っている 1:特に劣っている	5	4	3	2	1	×6	30	
(2)横浜版学習プラットフォームと自社 AI ドリルとの明確で有益な差分が示されているか。	5:差分が明示されており有益 3:差分が明示されているが不十分 1:差分が不明確	5	-	3	-	1	×4	20	

(3) 教科の系統性・関係性、他教科との系統性・関係性及び学習データから、児童生徒の積み残し・つまずきが発生している学習内容を、高度に推定する機能について、有益な検討内容が示されているか。	5:優れている 3:普通 1:劣っている	5	-	3	-	1	×3	15
(4)把握した積み残し・つまずきに対応し、学習内容の概念的・俯瞰的理解や全体観・つながりを捉えるためのコンテンツの検討が示されているか。また、コンテンツが、児童生徒の特性に応じ、最適な質と量でレコメンドされる機能について、有益な検討内容が示されているか。	5:優れている 3:普通 1:劣っている	5	-	3	-	1	×3	15
(5)授業の中での活用及び授業との接続に向け、有益かつ教員に負担を感じさせにくい機能について、優れた検討内容が示されているか。	5:優れている 3:普通 1:劣っている	5	-	3	-	1	×3	15
(6)ユーザーインターフェースは、児童生徒と教職員にとって使いやすいものか。	5:優れている 3:普通 1:劣っている	5	-	3	-	1	×3	15
(7)通信環境が不十分な場合に、学習が継続できる工夫があるか。	5:優れている 3:普通 1:劣っている	5	-	3	-	1	×3	15
(8)児童生徒と教職員のダッシュボード（管理）画面は、取組状況を簡単にわかりやすく把握できるものか。	5:優れている 3:普通 1:劣っている	5	-	3	-	1	×2	10
(9)保護者へのレポート機能は、保護者及び教員の負担なく、簡単に設定・変更・解除できる仕様か。	5:優れている 3:普通 1:劣っている	5	-	3	-	1	×2	10
(10)機能の質と量は、ICTの得意不得意など様々な状況にある教職員にとって負担感を感じさせにくいバランスとなっているか。	5:優れている 3:普通 1:劣っている	5	-	3	-	1	×3	15
(11)機能要件に対応しているか。	5:「不可」なし 3:「不可」があり 影響小 1:「不可」の影響 大	5	4	3	2	1	×8	40
(12)非機能要件に対応しているか。	5:「不可」なし 3:「不可」があり 影響小 1:「不可」の影響 大	5	-	3	-	1	×2	10

5 使用校における運用サポートについて									
<p>(1)横浜版学習プラットフォームが円滑に運用されるよう、教職員・保護者向けサポートデスクが充実しているか。</p> <p>※オンライン窓口…メール、問合せフォームなど  ※例…教職員向けは電話+オンライン、保護者向けはオンラインのみの場合「3」。サポートデスクが教職員向け、保護者向けのうち、片方のみの場合「1」。ただし、優れた独自提案がある場合、1段階上昇する。</p>	<p>5:電話及びオンライン窓口がある  (又は優れた独自提案がある*)  3: 電話又はオンライン窓口(上記*を除く)がある  1:サポートデスクの充実が不十分</p>	5	-	3	-	1	×4	20	
<p>(2)教員向けマニュアル、FAQ等に教員の活用を促進する工夫があるか。</p>	<p>5:特に優れている  4:優れている  3:普通  2:劣っている  1:特に劣っている</p>	5	4	3	2	1	×4	20	
<p>(3)ベースシステムの活用が十分に進んでいない場合の支援例について、具体的な計画が見られるか。</p>	<p>5:優れている  3:普通  1:劣っている</p>	5	-	3	-	1	×3	15	
<p>(4)個人情報に関する保護者同意が得られなかった場合の対応について、妥当性があるか。</p>	<p>5:優れている  3:普通  1:劣っている</p>	5	-	3	-	1	×2	10	
6 横浜版学習プラットフォームから提供するデータについて									
<p>児童生徒の「学習到達度」に関して横浜市に提供するデータについて、有益か。そのデータと学習到達度の関連について、エビデンス(根拠又は実績)があるか。</p>	<p>5:特に優れている  4:優れている  3:普通  2:劣っている  1:特に劣っている</p>	5	4	3	2	1	×4	20	
7 契約期間終了時のデータの引継ぎ(データを含む。)									
<p>次年度、別の事業者が受託した場合のスムーズな引継計画(データ含む。)について、妥当性があるか。</p>	<p>5:優れている  3:普通  1:劣っている</p>	5	-	3	-	1	×2	10	

満点 440